

# 令和5年台風第7号について

第3回福知山市避難のあり方推進シンポジウム  
令和6年1月21日

## 事前の予想

8月13日 台風第7号説明会の際の資料から



台風予想

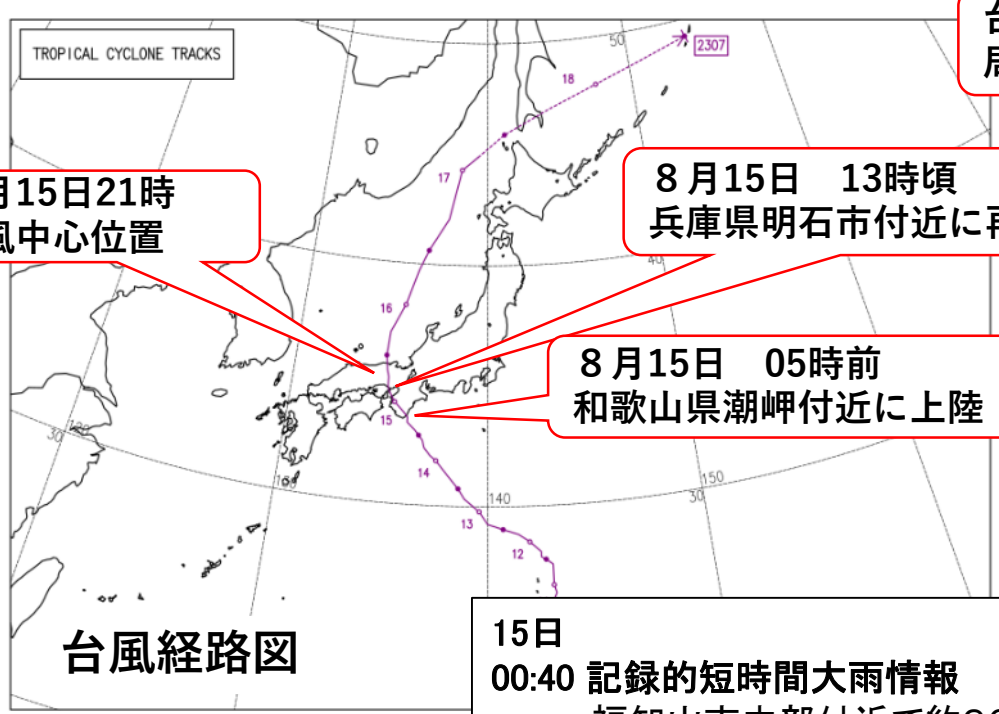
	13日				14日								15日				
	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時	
	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く					
台風最接近																	
大雨	大雨(浸水) (ミ)	20	20	20	20	5	10	5	1	20	20	20	20				
	大雨(土砂)																
	雷	注	注	注	注					注	注	注	注				
	暴風 (メートル)	陸上 7 ↗	7 ↗	6 ↗	3 ↗	4 ↗	3 ↗	7 ↗	8 ↓	8 ↓	12 ↓	12 ↓	12 ↓				
	海上 8 ↗	8 ↗	8 ↗	8 ↗	8 ↗	8 ↗	10 ↗	10 ↓	10 ↓	15 ↓	15 ↓	15 ↓					
波浪 (メートル)	1	1	1	1	1.5	1.5	1.5	1.5	2	2.5	3	3					
高潮 (メートル)	0.7	0.5	0.4	0.5	0.6	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7	0.5	0.6					
京都府南部	大雨(浸水) (ミ)	20	20	20	20	10	10	1	1	20	20	20	20				
	大雨(土砂)																
	雷	注	注	注	注					注	注	注	注				
	暴風 (メートル)	6 ↓	5 ↓	4 ↓	3 ↓	3 ↓	3 ↓	5 ↓	7 ↓	12 ↓	12 ↓	12 ↓	15 ↓				

■ 警報級 ■ 注意報級

## 警報級となる時間帯予想

京都地方気象台  
台長 金田芳彦

# 実況



8月15日21時  
台風中心位置

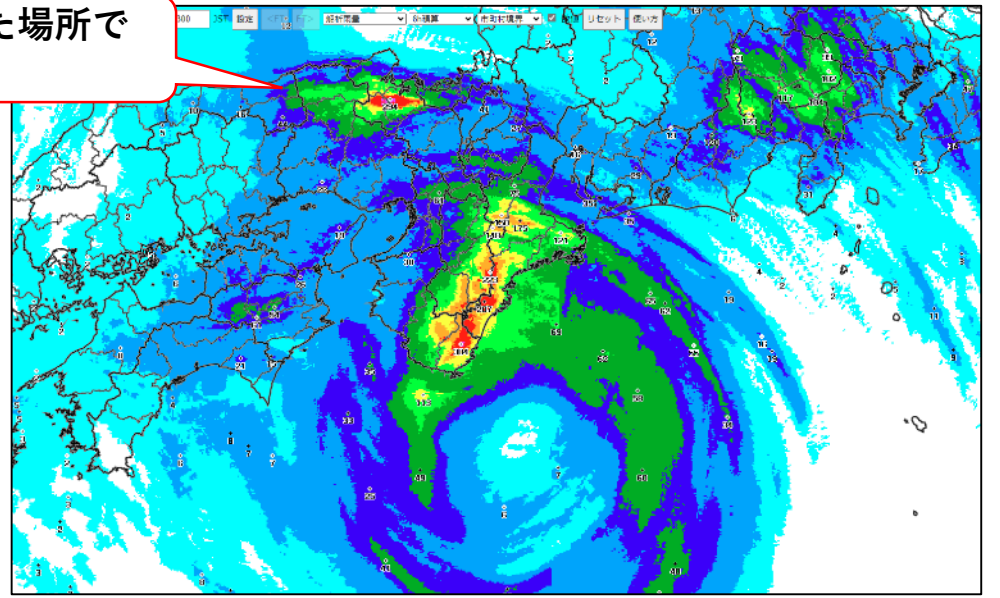
8月15日 13時頃  
兵庫県明石市付近に再上陸

8月15日 05時前  
和歌山県潮岬付近に上陸

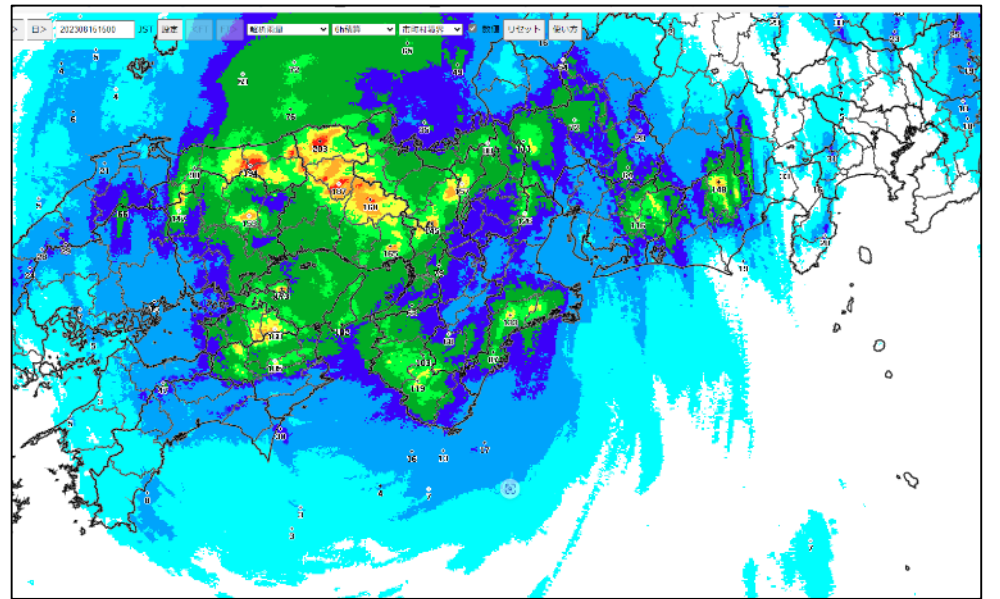
台風経路図

15日  
00:40 記録的短時間大雨情報  
福知山市中部付近で約90ミリ  
福知山市北部付近で約90ミリ  
00:47 記録的短時間大雨情報  
福知山市中部付近で約110ミリ  
福知山市北部付近で約110ミリ

台風から離れた場所で  
局地的に大雨

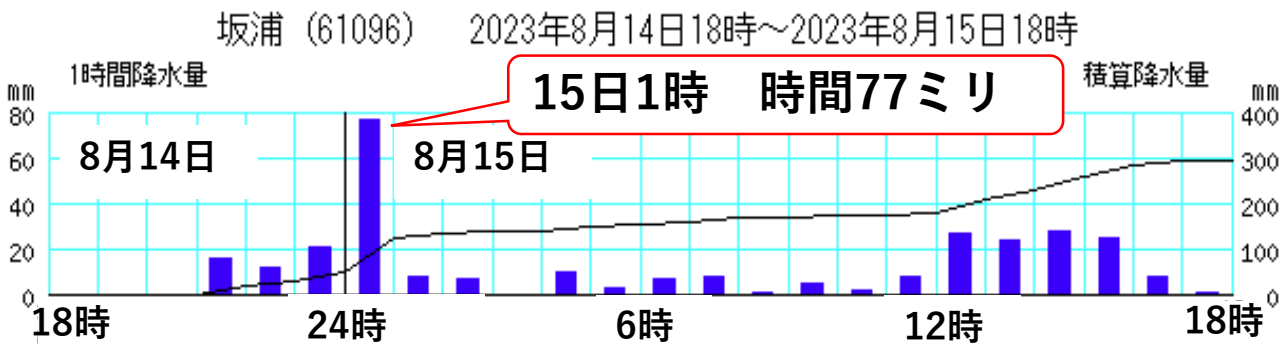


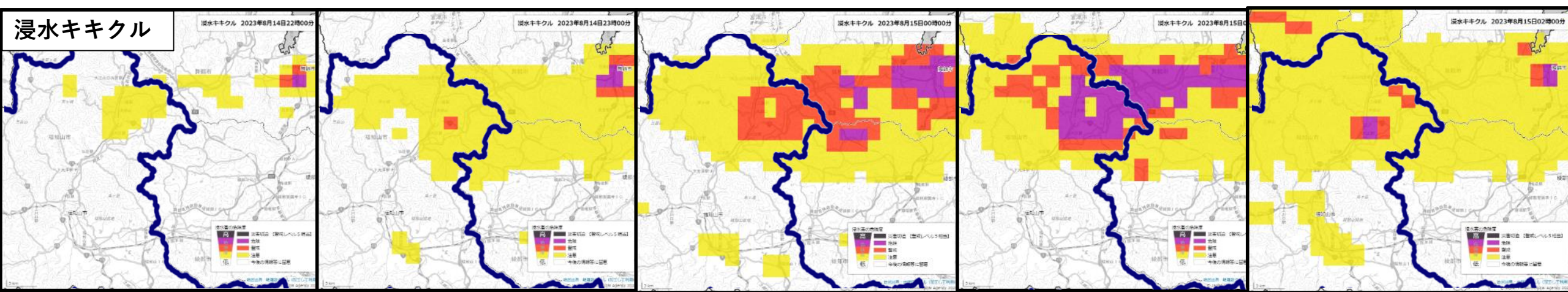
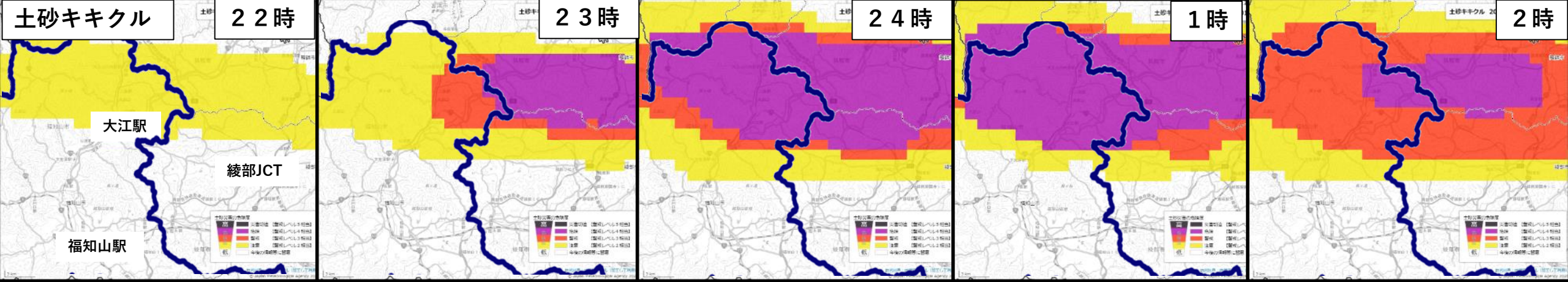
降水量 14日21時～15日03時の積算(解析雨量)

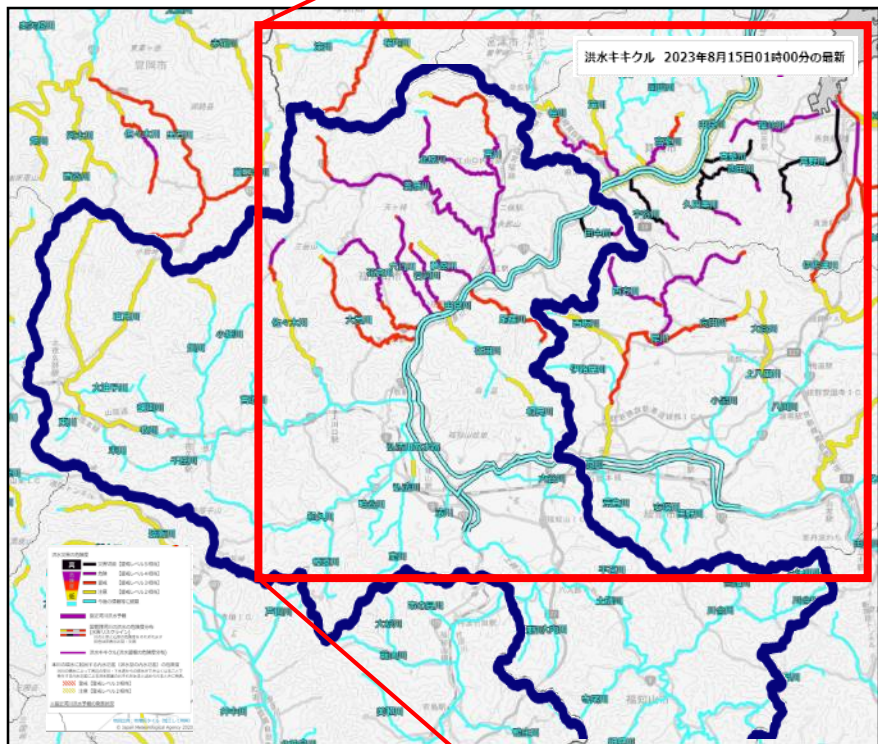


降水量 15日09時～15日15時の積算(解析雨量)

## 1時間降水量の経過 アメダス坂浦 (福知山市)







# 令和5年台風第7号災害における 福知山市の対応について

---

福知山市 副市長

前川 二郎

令和6年1月21日

- 1 令和5年台風第7号災害の特徴**
- 2 台風第7号接近時の本市の対応**

## 令和5年8月14日～15日

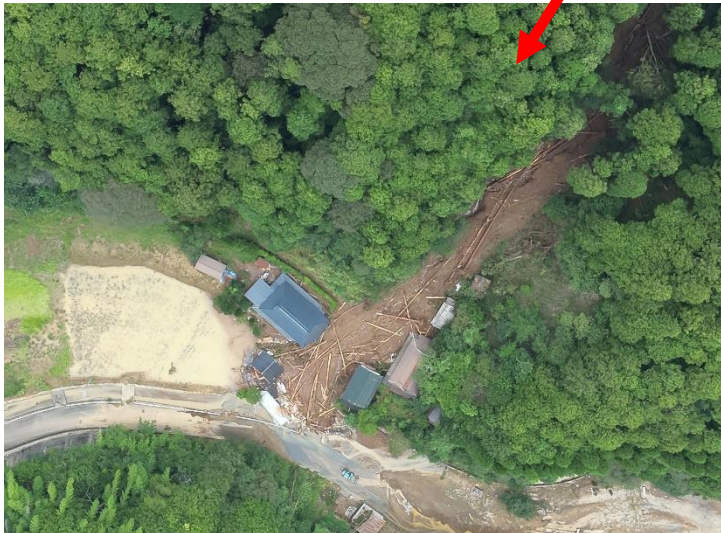
- (1) ピーク時の雨量 5時間で273mm  
(14日21時～15日2時、大雲橋観測所(京都府))
- (2) 由良川最高水位 1.08m (福知山水位観測所 (国土交通省))
- (3) 住家被害 全壊10棟、半壊2棟、準半壊6棟  
床上浸水22棟、床下浸水77棟
- (4) 1時間最大雨量 (50mm以上)
- |              |                 |                        |
|--------------|-----------------|------------------------|
| ・ <u>大雲橋</u> | <u>114 mm/h</u> | (8/14 23:40～8/15 0:40) |
| ・ <u>下野条</u> | <u>84 mm/h</u>  | (8/15 0:00～1:00)       |
| ・ <u>坂浦</u>  | <u>83 mm/h</u>  | (8/15 0:00～1:00)       |
| ・ <u>佐々木</u> | <u>74 mm/h</u>  | (8/15 0:10～1:10)       |
| ・ <u>上豊富</u> | <u>56 mm/h</u>  | (8/15 12:50～13:50)     |
| ・ <u>直見</u>  | <u>54 mm/h</u>  | (8/15 0:00～1:00)       |
- (5) 24時間最大雨量 376mm  
(14日21時～15日21時、大雲橋観測所(京都府))

記録的な短時間豪雨の影響で河川が土砂や流木で閉塞し、オーバーフローしたことにより道路に激流が及び、家屋等を襲った土砂・洪水氾濫被害の様子





# 1 令和5年台風第7号災害の特徴【被害状況】



撮影：(一社)無人航空機操縦士養成協会

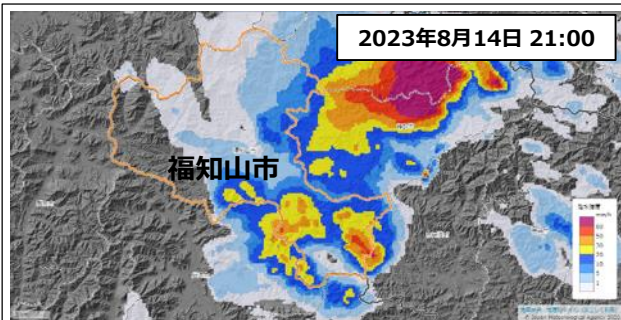
- 1 令和5年台風第7号災害の特徴
- 2 **台風第7号接近時の本市の対応**

# 2 台風第7号接近時の本市の対応【台風対応タイムライン】

京都地方気象台パーチャート								福知山市事前行動計画					
日付	時間帯	最接近	時間最大	大雨		洪水	暴風	雨量予測	体制	避難所開設	情報発信	会議対応	
				浸水	土砂								
8/13 (日)	09 昼前		20								15:00 注意喚起放送	14:00 台風説明会	
8/14 (月)	09 昼前		15					○最大1時間降水量14日多いところ ○最大24時間降水量14日多いところ 80ミリ	15日午前7時の避難所予告と台風への備えを伝達		9:00 注意喚起放送	11:30 京都府部局長会議	
	12 昼過ぎ		20										14:00 情報共有会議 以降、状況に応じて随時
	15 夕方		20									18:00 避難所開設予告放送	この会議で意思決定！
	18 夜のはじめ頃 21 夜遅く		20								気象警報発表で警戒本部自動設置		
8/15 (火)	00 未明		30					○最大1時間降水量15日多いところ50ミリ ○最大24時間降水量15日多いところ100ミリ 200ミリ					
	03 明け方		30	警戒期間(中)									
	06 朝		50	警報発表のタイミング(想定)							7:00 全広域避難所開設	7:00 高齢者等避難発令	警戒本部設置
	09 昼前		50									9:00 第1回警戒本部会議	
	12 昼過ぎ	最接近	50							以降、台風接近に伴う気象情報や降雨・水位の状況に応じて体制強化、避難情報発令を検討する。			
	15 夕方		50	警戒期間(高)									
	18 夜のはじめ頃 21 夜遅く		50										

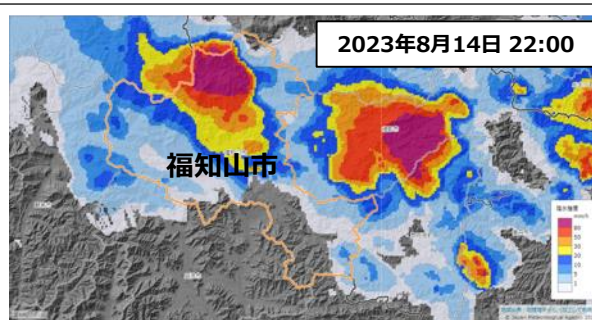
●8/14現在の「台風7号の福知山市の対応タイムライン」。気象台と民間気象会社の聞き取り等により8/15の昼過ぎのピークを見据え、8/14の14時の情報共有会議にて、15日7時高齢者等避難、避難所開設を決定、市民への予告放送を実施。ところが…

# 2 台風第7号接近時の本市の対応【事態進行】

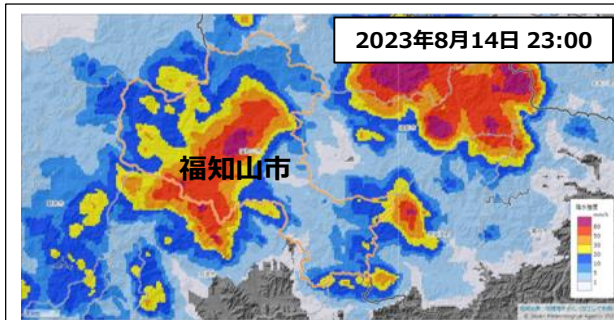


台風のピークは15日午後から…とされる中、本部会議において、『15日午前7時に避難所を開設し高齢者等避難を発令』するシナリオで対応を組み立て。この時点ではまだ注意報止まりで警報は出ておらず、災害警戒本部は立ち上がっていない。

14日18:00 15日朝の避難所開設予告放送を実施。

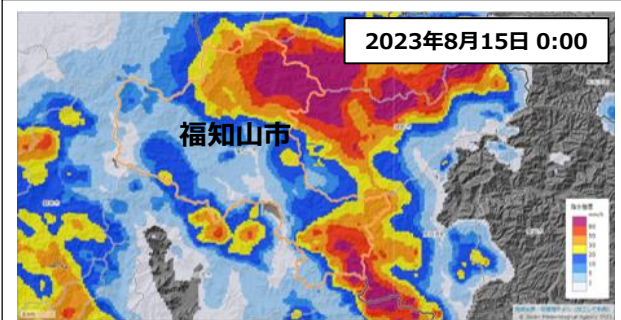


対応が長丁場になると見込まれること、台風のピークがまだ先であると見込まれることから、危機管理室は、21:00以降室員半分ずつで警戒体制を取ることとし、半数の職員が仮眠等のため一旦帰宅。その直後、22:13 洪水警報発表。帰宅した職員も職場へ戻り、全員で警戒態勢に入った。由良川の水位は気にしていたはずだが…洪水？

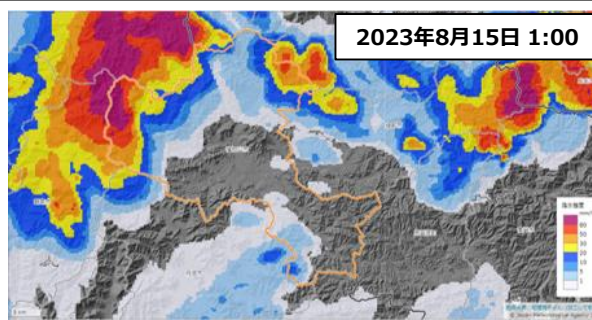


23:13 大雨警報発表  
23:20 大江地域に土砂災害警戒情報発表  
23:40 大江地域に避難指示を発令「土砂災害の危険がある場所に住んでいる方は、近隣の安全な場所か家の2階の山や崖と反対側の部屋に移動するなど、命を守る最低限の行動を。避難所は現在開設準備中」

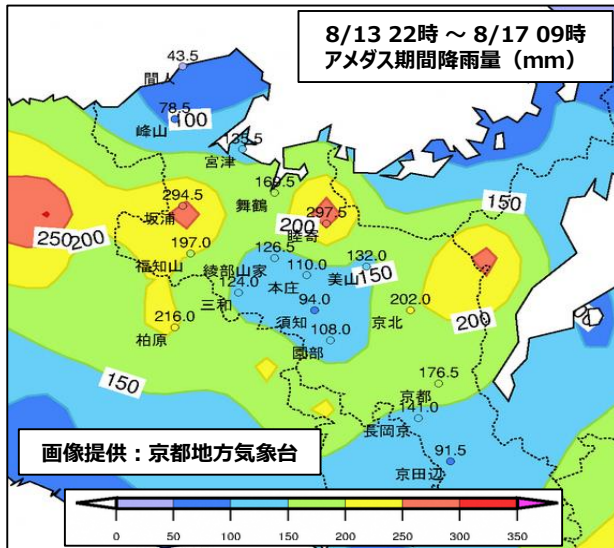
各地の浸水センサーがバンバン反応する…由良川の増水は全くないのに…！？



0:30 旧福知山市に土砂災害警戒情報発表  
0:40 金山・雲原地域に避難指示を発令「土砂災害の危険がある場所に住んでいる方は、近隣の安全な場所か家の2階の山や崖と反対側の部屋に移動するなど、命を守る最低限の行動を。避難所は現在開設準備中」  
0:40、0:47 記録的短時間大雨情報発表



1:40 広域避難所（大江、金山・雲原地域）開設完了  
その後も強い雲がかかり続け、降り始めからの24時間降水量は京都府の大雲橋観測所（大江町）で376ミリを観測。



今回の災害では、台風の本体が遠くにある中で、局所的で激甚な豪雨があったもの。

従来の由良川の水位の上昇による浸水害ではなく、地域の山などに降った雨が小河川や集落等に土砂を巻き込み激流となって流れ込み、大江地域や北陵地域等市の北部を中心に大きな被害が発生した。

今後、こうした突発的で急激な事態進行をたどる災害も多くなると考えられ、市として、地域としてどのように対応すべきかを考える必要がある。

# 今回の対応を振り返っての課題

# 令和5年 台風7号災害 福知山市大江町 南四自主防災会 災害対応報告

南四自主防災会  
防災リーダー 土佐 和弘

# 南四自治会の概要



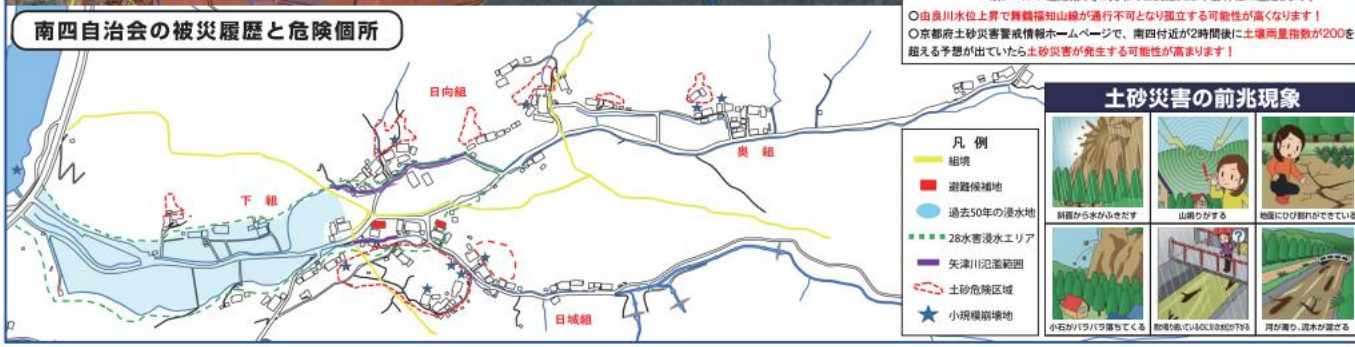
## 南四自治会 防災マップ

令和5年2月作成

避難のタイミング	取るべき行動
1 早期注意情報	避難準備を促す
2 大雨・洪水注意情報	災害への心構えを高める
3 土砂災害等注意情報	四方の避難行動を確認
4 避難指示	四方の避難行動を確認
5 避難指示	四方の避難行動を確認

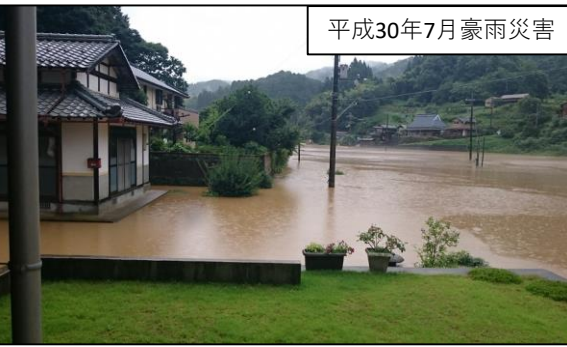
**凡例**  
 土砂災害の危険な区域  
 土砂災害警戒区域  
 土砂災害特別警戒区域  
 土砂災害等注意区域  
 土砂災害等注意区域  
 土砂災害等注意区域  
 土砂災害等注意区域

● 消火栓 ● 防火水槽



南四自治会は、市の北東部、由良川大雲橋の下流に位置し、過去から由良川増水時の矢津川への逆流による氾濫や山間での土砂災害に見舞われてきた。このことから、令和4年度に地域版防災マップ（マイマップ）の作成に取り組み、過去の災害履歴の分析や危険箇所の確認、災害時の避難場所を検討したうえで、マップを作成、自治会の避難行動を定め、周知を行った。

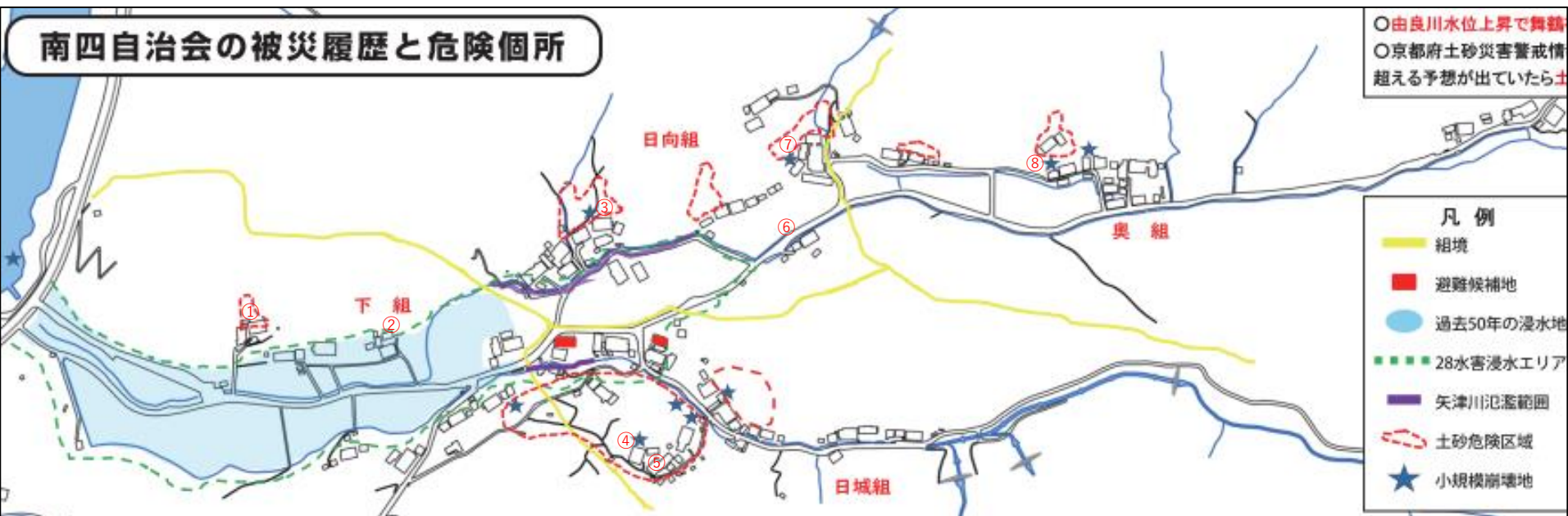
令和5年8月14日から15日にかけて、台風7号の接近に伴い、地域に激甚な豪雨があり、甚大な被害が生じた。



# 南四自治会の概要・過去の災害の記録



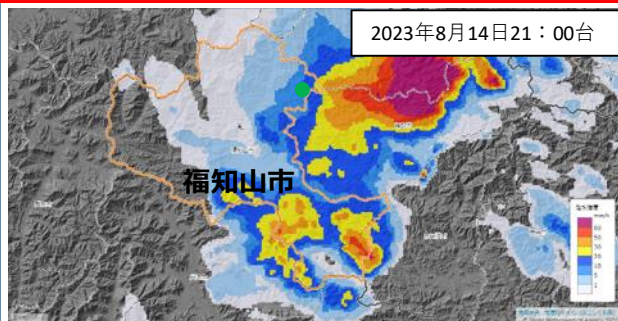
## 南四自治会の被災履歴と危険箇所





# 南四自主防災組織 活動記録

2023年8月14日 21:00台



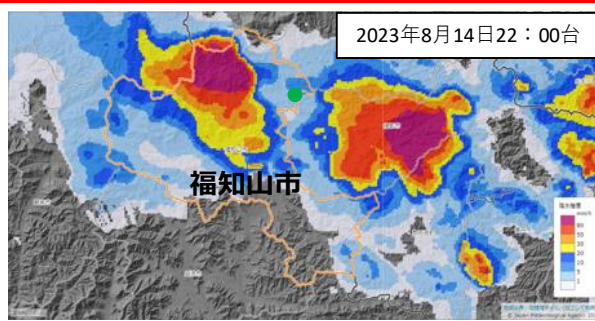
(状況)

8月14日午後6時、福知山市から防災行政無線にて、接近中の台風への備えの依頼と、15日の午前7時に全広域避難所を開設するとの放送

(土佐)

台風への備えは特に行わず、従来通り由良川水位の上昇による対応を想定し、勝負は15日と見込む。  
※この時間帯に雷による停電が頻発、これにより地域の有線放送に接続するUPS（無停電電源装置）がダウンし、この後の市からの避難指示等の情報が届かなかった可能性がある。

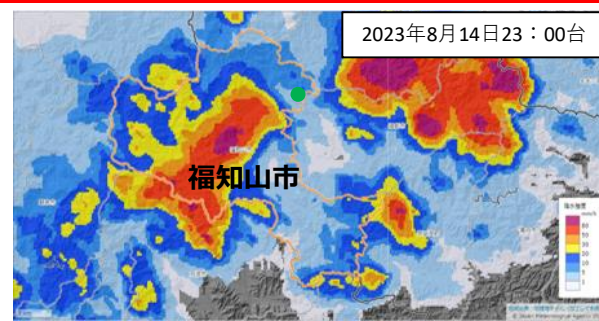
2023年8月14日 22:00台



(土佐)

強い雨が降り出したが、この時間帯は自治会としての対応は特になし。自治会役員も外の状況が分からず、就寝した役員も多くあった。

2023年8月14日 23:00台



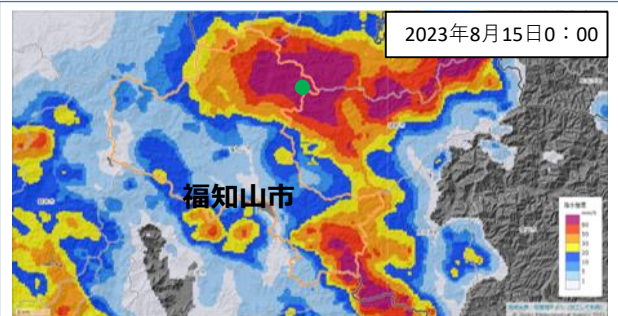
(状況)

23時13分大雨警報、同20分に大江地域に土砂災害警戒情報が発表、23時40分に大江地域に避難指示が発令。

(土佐)

この時間帯は、ネットやテレビによる由良川の水位、気象情報の情報収集にとどまり、今後ひどい状況になりそうだと危機感を感じる。  
しかしながら、避難指示などの防災行政無線による伝達がなかったため、「今回は静かやな」と疑問を感じる始める。

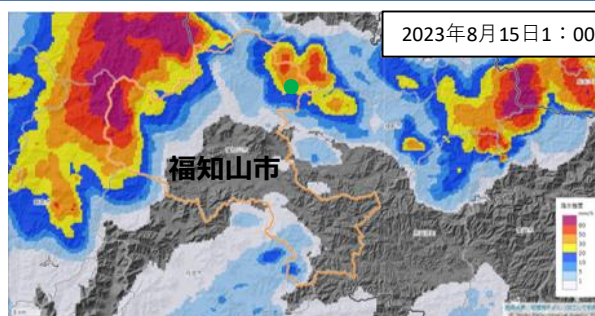
2023年8月15日 0:00



(土佐)

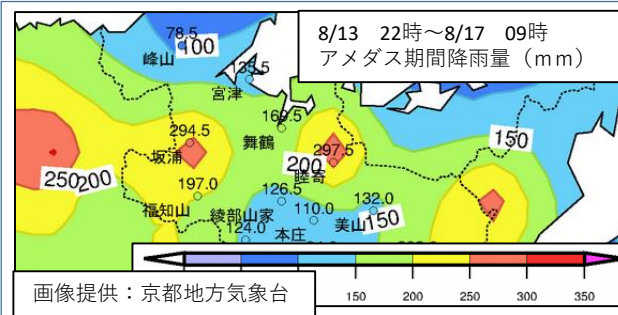
この時間帯で尋常ではない雨音が確認できたため、自宅前の矢津川を確認すると、すでに氾濫し始めていた。この時の屋外確認で、息のできない状態（地上で溺れるような感覚）となっていた。あまりの豪雨で屋外での活動をあきらめ、いったん屋内での由良川の水位、気象情報の収集に努める。屋内から矢津川の確認をするど、どんどん水位が上昇していた。これだけの状態であるにも関わらず、防災行政無線での情報が入らないので南四だけの極小災害かと思いつつ、雨脚が弱まるのを待っていた。

2023年8月15日 1:00



(土佐) 台風後の後処理（泥カキ・流木処理）を考えながら、屋外に出る準備を再度始める。降雨が収まりつつあったので、矢津川の氾濫はあったが、屋外での活動を再開。1時ごろ、Hさん宅は室内灯が点いていたため、大丈夫だと判断した。  
2時ごろ、Hさん宅から懐中電灯による点滅が見受けられたため、救助要請だと感じ、Hさん宅では、土砂災害で家屋倒壊が生じており、救助し公会堂に避難してもらった。一人での活動に限界を感じ、役員に連絡を取り、集結後防災活動にあたった。Hさんは、午前4時頃、市内の娘さんが迎えに来られ避難された。

8/13 22時～8/17 09時  
アメダス期間降水量 (mm)



15日、台風の上陸後、小康状態になった午後から、公会堂に避難されていた方を含む、4世帯6名が消防署の指示により市の広域避難所である旧有仁に避難。そのうち1世帯2名は、市内の息子宅へ避難、その他の方は16日まで旧有仁小学校で避難生活をされ、避難者の帰宅の際には移送を行った。

15日の午後、隣のKさんの安否確認を行うと、裏山の土砂崩れにより家屋に土砂が流入している状況であり、救助にあたり、息子に連絡をとって迎えに来てもらった。

# 今後の対応(災害に強い南四自治会を目指して)

令和5年8月30日 南四小区常会 台風7号災害に関するふりかえり

## 【下組】

### (当日の状況)

- ・今回の台風は、今まで経験したことのない豪雨で、防災活動をする予測が立てられなかった。
- ・由良川の水位ばかりに気をとられ、雨量を把握できていなかった。
- ・防災行政無線からの情報もなく、気付いた時には避難できない状況、安否確認もできなかった。

### (今後の課題・取組)

- ・予測不可能な災害が当たり前になっており、もっと強い危機感を持つべき。組長を先頭に組内の避難確認を徹底する。防災意識の改善
- ・由良川の浸水という問題があり、避難所への避難がしづらいので自宅での垂直避難を行う。
- ・高齢者の災害時の情報収集は防災行政無線に限られ、必ず稼働するよう行政に働きかける。

## 【奥組】

### (当日の状況)

- ・今回は急な豪雨となり「避難」することができなかった。マイマップ作成時には「早めの避難」と決めていたが、その機会がなかった。
- ・防災行政無線で避難指示が伝わらなかったため、自分での判断が難しかった。
- ・組内宅全箇所、裏山の土砂崩れによる家屋倒壊や家屋被害があった。
- ・15日に消防署の誘導による広域避難所への避難が2軒、1軒は自宅から出られない状況となり自宅での避難となった。

### (今後の課題・取組)

- ・避難指示が入らない場合においても、自主的に「早めの避難」に取組み何も起きなければ良かったと思うことにする。
- ・組長(役員)の避難はどうか、役職活動を重視するのか、自分の身を守ることを重視するのか、今後検討。

## 【日向組】

### (当日の状況)

- ・これまでは由良川増水による被害が主であったが、今回は従来の災害とは別物で初動活動が遅れた。
- ・地区内の豪雨がひどかったため、裏山の土砂崩れによる家屋の被災、川の越水による床上・床下浸水、田畑への土砂・流木の流れ込みがあった。
- ・土石流の発生による大規模な被災箇所があり、家屋への土砂流入、道路の寸断があった。
- ・8/15～16にかけて、消防の誘導により組内2軒の避難があった。

### (今後の課題・取組)

- ・夜の避難は避けるべきで、朝になってから避難所または親族のところに避難する。
- ・防災グッズの必要性を感じた。(飲料、食料、寝具など)

## 【日城組】

### (当日の状況)

- ・台風本体の上陸前に豪雨となり、予測不可能で身動きが取れなかった。
- ・日城川の越水により、床下・床上の被災を受ける家屋や、土砂崩れによる家屋被害はあったものの、人的被害は免れた。

### (今後の課題・取組)

- ・日城川が土砂堆積により浅くなるため、早めに現状を確認し、水害への対策を講じる。土砂崩れの発生にも十分注意する。
- ・組内それぞれに声を掛け合うことが重要。「声掛け重視」を合言葉に!
- ・災害時の状況を早めに把握し、徒歩で公会堂へ避難する。

**今回のような突発的で急激な事態進行をたどる災害においては、役所や場合によっては助け合いも出来なくなる。今回の災害を教訓に、自助・共助の力を高める必要がある!**